

地域防災力の

向上を目指して

減災

平成24年10月、11月に、野場区、幸田区、芦谷区、深溝学区、大草区および荻区で防災訓練が実施されました。訓練を実施した区では「災害時に個人、また地域で何ができるか」を考え、それぞれの区の状態に応じた訓練が行われました。今回は、それぞれの区の訓練の様子をお伝えします。



▲バケツリレーはいいコミュニケーションにもなりました(幸田)

10/21 野場区 防災訓練

野場区では、約200人が参加し、名古屋大学減災連携研究センター長の福和伸夫教授を招き、防災講演会を実施しました。講演では、自分の命、家族の命を守るためには、建物内すべての家具止めと建物の耐震が必要であることを学びました。また福和教授は、命無くして地域は守れないことを力強く語られました。



▲福和伸夫教授による防災講演会(野場)

11/3 幸田区 防災訓練

幸田区では、201人が参加し、避難訓練、地震体験車での地震体験、応急手当、炊き出し訓練などを行いました。区内の11階建のマンションでは、停電によりエレベーターが使用できなくなったことを想定し、階段から人が1階へ搬送する訓練や、消防はしご車による救助訓練を行いました。



▲はしご車による救助訓練(幸田)

11/4 芦谷区 防災訓練

芦谷区では、いち早く区民の安否確認ができる体制づくりを進めるため、全区民を対象に「安否確認訓練」が行われました。これは隣近所がお互いに協力して素早く安否の確認を行うものです。訓練では1時間程度で約2,200人の安否状況が確認されました。



▲組ごとに安否の人数確認をしている様子(芦谷)

防災

11/4

深溝学区 防災訓練

深溝学区では、深溝小学校で防災訓練を行いました。深溝学区では、各区の防災会役員を対象に、毎年この時期に防災訓練を実施しています。今年度は、応急手当、負傷者搬送について学ぶとともに、小学校が避難所になった場合に備え、備蓄倉庫にある資機材の使用訓練を行いました。



▲体育館の脇に仮設トイレを設置（深溝）

11/18

大草区 防災訓練



▲約650人が参加した避難訓練（大草）

大草区では、集会施設3カ所（大草老人憩の家、大草西コミュニティホーム、大草南コミュニティホーム）への避難訓練が行われました。この日、区単位で行う防災訓練としては最大となる約650人の参加がありました。各施設では、避難の際に必要な「非常持出袋」に入れるものの確認、家庭での備蓄やAEDの使用方法、初期消火などについて学びました。

11/25

荻区 防災訓練

荻区では、荻農村センターに避難する防災訓練が行われました。この訓練には約80人が参加しました。その中には多くの子どもたちも加わり、大人たちと一緒に防災について学びました。また、避難をされた多くの人が非常持出袋を持って農村センターに集まり、防災意識の高さがうかがえました。



▲子どもたちも応急手当にチャレンジ（荻）

野場区防災会が

表彰されました！

愛・地球博記念公園で開催されたあいち防災協働社会推進大会「あいち防災フェスタ」において愛知県知事から幸田野場区防災会の皆さんへ感謝状が贈呈されました。区内3カ所に設けた避難場所において、大規模地震を想定した防災訓練の実施、コミュニティ間の連携や小型動力ポンプ、防災車両、緊急放送設備などを整備することともに地震避難所マップの作成などが評価されました。



▲表彰式に出席した野場区長（写真中央）

町内の各区では、防災訓練を始めとした防災対策が進められています。地域の防災訓練は「減災・防災」に触れる一番身近な機会です。隣近所で声を掛け合い、積極的に防災訓練に参加しましょう。

問合せ 防災安全課安全対策G（内線371）

愛知万博メモリアル駅伝

過去最高順位!

幸田町代表チーム

第2位入賞!

(町村の部)



選手紹介 (敬称略)

後列左から

渡辺義文、岡出紀久、吉田文子、
鴨下克巳、大竹舞、安村真緒、
井田春樹、鈴木太基、村越好晴、
羽根潤悟

前列左から

鈴木千恵、稲吉悠多、油井一成、
平岩篤弥、荻野紗綾、澤田桃香、
大竹樹、中島聡太

	市の部	町村の部
第1位	田原市	東浦町
第2位	豊田市	幸田町
第3位	岡崎市	阿久比町
第4位	名古屋市	武豊町
第5位	西尾市	東郷町

12月1日に長久手市の愛・地球博記念公園を会場に開催された「愛知万博メモリアル・第7回愛知県市町村対抗駅伝大会」において、幸田町が第2位(町村の部)という快挙を成し遂げました。

前回大会で第3位入賞を収めました。今大会でさらに一つ順位を上げ、過去最高の順位となりました。

9月23日に幸田中央公園で行われた代表選手選考会で選ばれた選手たちが、大会当日まで厳しいトレーニングを重ね、各選手が「チームのため、大会当日までサポートしてくれたコーチや家族のため、大会で走ることができなかった選手のため」などそれぞれの想いを1本のたすきに込め、寒風吹き荒れる初冬のモリコロパークを全力疾走しました。

1秒でも速く次の走者へつなげるよう、「最後まで絶対にあきらめない!」という全員の気持ちが一つとなった見事なチームワークと会心の走りを見せてくれました。



第1区(右端)



ゴール直後の選手胴上げ



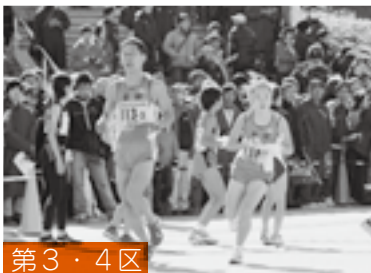
第2区



第5・6区



第7・8区



第3・4区



第9区

さよなら、ブルーバード

「愛あり幸あり」をモットーとする愛幸学園。文化祭間近でその準備に盛り上がる生徒たち。そんな中、3年生のサチとクラスメイトのミナミ、キントはそれぞれに悩みがあった。下校時間。学校の玄関を出ると校庭は霧の世界。サチたちは、霧の中“校門”を見つけるが…そこに現れたのは“青のこども”だった——

幸田町町制施行60周年記念事業 幸田ミュージカル 2013

開幕

1月19日(土)・20日(日)

広報こうた6月号で特集した幸田ミュージカル2013「さよなら、ブルーバード」がいよいよ開幕します。

本作品は町制施行60周年を記念するにふさわしく、出演者だけでなく、台本、衣裳、小道具の制作まで、約150人の町民が手作りでを行い、まさに幸田町民が持っているエネルギーとパワーが凝縮されたステージとなっています。

また、ステージを輝かせるための音楽、振付、舞台美術、衣裳などには、ミュージカル界の一流スタッフが結集して作品づくりを行ってきました。

作品のテーマは、愛知県幸田町にちなんで「愛」と「幸せ」です。ぜひご鑑賞いただき、「さよなら、ブルーバード」に込められた想いを、どうぞ感じてください。

公演日 1月19日(土) ①開場：午後6時 開演：午後6時30分
1月20日(日) ②開場：正午 開演：午後0時30分
③開場：午後5時 開演：午後5時30分

会場 町民会館さくらホール
料金 一般3,000円 学生2,000円 ※前売り料金(全席自由)
主催 幸田町文化振興協会 **後援** 幸田町、幸田町教育委員会
問合せ 幸田町文化振興協会 ☎63-1111



「スタート今、この瞬間」
♪さびしくて、苦しくて、逃げ出したいこともあった
自分さえ見えなくて、迷路の中探してた
さまざま私を導いてくれた幸せの青い鳥
その先にはたくさんのぬくもりがあふれていた
私はもうひとりじゃない、ここから今歩き始める
さよなら 笑顔であなたに伝えたい、ありがとう
いつか会えるその日まで、私は私のままで
明日へつなぐまっすぐな想いを
心に抱いて、離さないように
うれしいとき、かなしいとき、私は思い出すのだろう
あなたが教えてくれたこと、大好きなあの歌を
忘れないよ、今を、このときを
忘れないよ、この愛と幸せを——

皆さん！ぜひ
観に来てください♪

